

弥富市事務事業評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	43	1	事務事業名	商工団体支援事業		細事務事業名	商工団体支援事業		公的関与	9	シート作成日	平成29年6月29日											
	課名	商工観光課		グループ	商工		担当課長名	大河内 博		シート作成者名	栗本卓典													
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営				事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託											
		<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業							<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等											
	総合計画	政策目標	5 豊かで活力に満ちたやとみ				実施計画		事業の開始・終了															
		施策項目	商業の振興				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		年度 ~ 平成		年度		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし											
		主要施策	近代化・魅力的な商業活動の促進				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		弥富市補助金等交付規則													
	個別計画																							
	事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)																		
		市内商工業者				弥富市商工会に対して助成を行うことにより、市内中小商工業者の指導育成を促進し、その経営の改善を図ります。																		
事業の内容	弥富市商工会の事業(経営改善普及事業・地域振興事業等)に、補助金を交付します。商店街の環境維持を図るため、街路灯の維持管理費の助成を行います。																							
成果指標	①	指標名	商工会会員数				②	指標名																
		指標設定の考え方	市内の商工業の振興を目指す観点から、商工会会員数を指標とします。					単位	名	指標設定の考え方														
	実績	平成 27 年度	761	実績	平成 28 年度	753	目標	平成 29 年度	800	目標	平成 30 年度	850	実績	平成 27 年度		実績	平成 28 年度		目標	平成 29 年度		目標	平成 30 年度	
	目標	820	目標	800	目標	800	目標	850	目標		目標		目標		目標		目標		目標		目標		目標	
	予算費目	会 計	一般会計				款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費									
直接事業費			平成 27 年度決算額				平成 28 年度決算額				平成 29 年度予算額													
	国・県支出金																							
	地方債																							
	その他特定財源																							
	一般財源	53,719 千円				24,964 千円				27,186 千円														
	計(A)	53,719 千円				24,964 千円				27,186 千円														
人件費(B)	正職員工数・経費	0.050 人				0.050 人				0.050 人														
	臨時職員工数・経費	345 千円				345 千円				345 千円														
	臨時職員工数・経費	0 千円				0 千円				0 千円														
全体事業費(A+B)		54,064 千円				25,309 千円				27,531 千円														

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価			
							○ はい	● いいえ					○ はい	● いいえ		
必要性	1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					○ はい	● いいえ	商工業者の育成や振興を図り、活力ある商業地を目指すうえで、商工業者への経営改善指導及び地域振興事業の活性化は、必要です。				○ はい	● いいえ		
	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					○ はい	● いいえ					○ はい	● いいえ		
	3.	住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					○ はい	● いいえ					○ はい	● いいえ		
	4.	住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					○ はい	● いいえ					○ はい	● いいえ		
有効性	1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					○ はい	● いいえ	商工会の支援は、商工業者の育成、振興につながります。				○ はい	● いいえ		
	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					○ はい	● いいえ					○ はい	● いいえ		
	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					○ はい	● いいえ					○ はい	● いいえ		
	4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					○ はい	● いいえ					○ はい	● いいえ		
達成度	1.	目標設定に対して進捗状況が劣っている。					○ 目標に比べて劣っている	商工業者への巡回指導等、経営改善指導にはある程度成果は上がっていますが、地域振興事業にはマンネリ化が見られ、商工会の組織強化の弊害となりつつあります。				○ 目標に比べて劣っている				
	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていない。					● あまり上がっていない					● あまり上がっていない				
	3.	目標設定に対して概ね目標を達成している。					○ 概ね達成している					○ 概ね達成している				
	4.	目標設定に対して十分に目標を達成している。					○ 十分達成している					○ 十分達成している				
効率性	1.	効果に比べてコストが高い。					○ はい	● いいえ	商工会は経営指導員により、商工業者の相談及び経営指導等を行っており、商工業者の経営安定・強化を図る上で効率的です。				○ はい	● いいえ		
	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					○ はい	● いいえ					○ はい	● いいえ		
	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					○ はい	● いいえ					○ はい	● いいえ		
	4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					○ はい	● いいえ					○ はい	● いいえ		
ACTION	一次評価					二次評価										
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価					
		4	4	2	4	A	4	4	2	4	A					
	今後の方向性	● 拡大・充実 ○ 縮小	○ 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等		● 拡大・充実 ○ 縮小	○ 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等						
	当面の課題	後継者問題等を背景に、全国的に既存商店等が衰退している中、商工会の事業自体もマンネリ化して閉塞しつつありますので、商工会事業の拡張を図り、新たな会員を増やしていく必要があります。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)									
	課題解決のための改善計画	商工会を支援することにより、経営指導員の巡回指導等において会員以外の商工業者にも積極的に訪問し商工業の振興を図ります。また、地域振興事業については、その安定強化を図りつつ、より効率・有効的な振興事業に支援を図ります。					商工業者特に小売業者等については、大型量販店の進出及び後継者不足等により活力が低迷しているが、商工会活動を支援するとともに商工業振興資金制度等を積極的に推進する必要があります。									
備考																